

栗田工業株式会社

2026年3月期 上期 決算説明会

(証券コード：6370)

2025年11月10日



2026年3月期 上期実績

売上高 : + 1% 事業利益 : + 11% CSVビジネス売上高 : + 11%
通期計画に向けて計画線で進捗

電子

- 継続契約型サービスやメンテナンスが堅調に推移し、増収増益で収益性も改善

一般 水処理

- 装置事業の売上増加とCSVビジネスの拡大により、増収増益で収益性も改善

2026年3月期 通期業績予想

受注高 : + 2% 上方修正 売上高・事業利益 : 据え置き

電子

- 足元の受注動向や工事進捗を踏まえ、受注高を上方修正、売上高を下方修正
- 事業利益はミックス改善により据え置き

一般 水処理

- 為替レート的前提の見直しや上期進捗を踏まえ、受注高・売上高ともに上方修正
- 事業利益は1Qの追加コストの影響により据え置き

1	2026年3月期 上期実績	-----	P. 3 - 13
2	2026年3月期 通期業績予想	-----	P. 14 - 23
3	PSV-27計画の進捗状況	-----	P. 24 - 41
4	Appendix	-----	P. 42 - 44

1

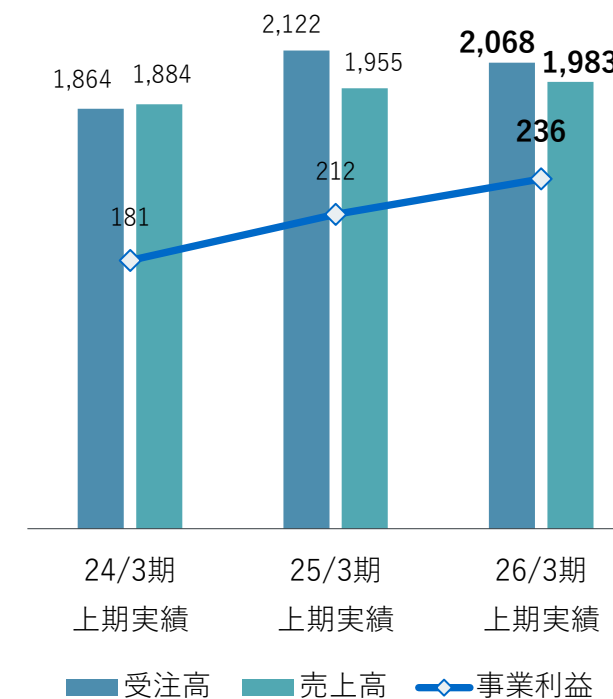
2026年3月期 上期実績

業績概要



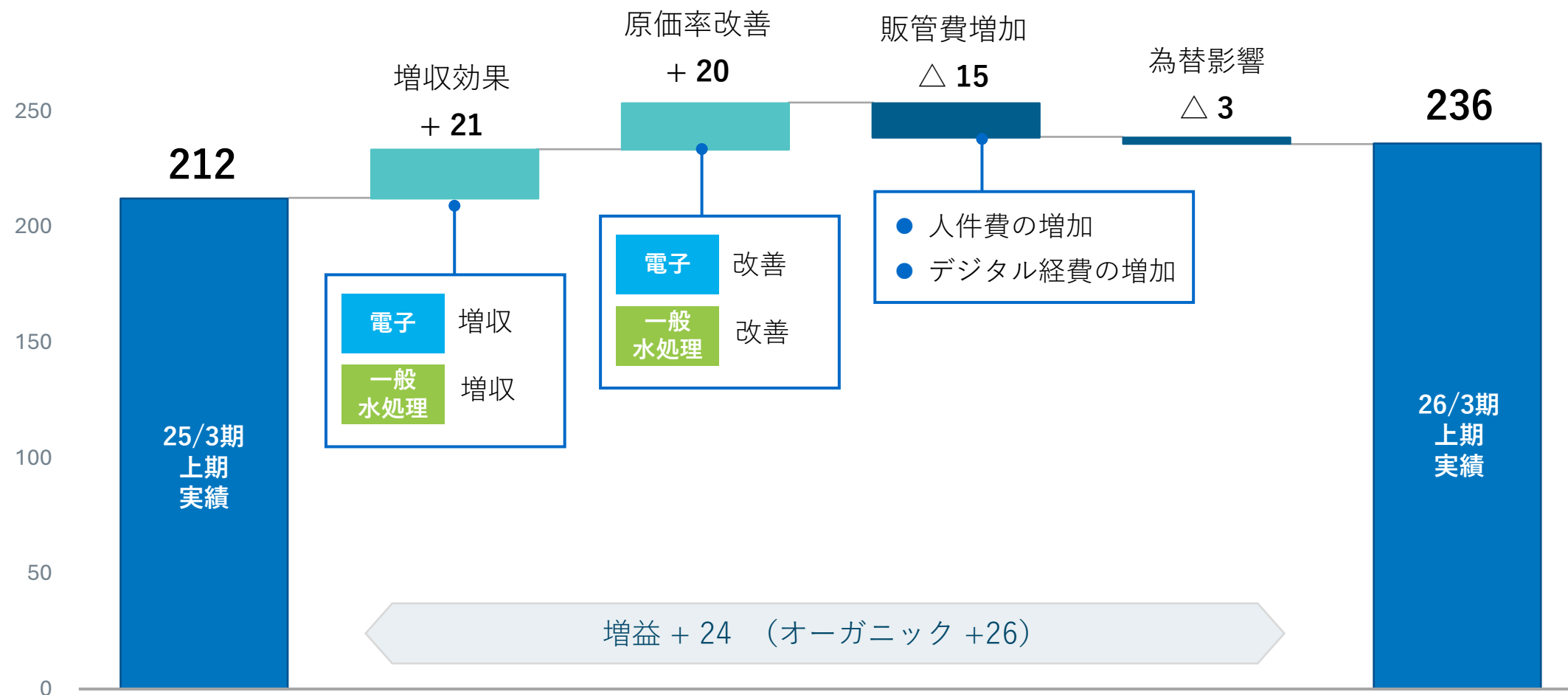
(単位：億円)		2025/3期 上期実績	2026/3期 上期実績			2026/3期 上期予想 (5/8発表)
				前期差	前期比	
受注高		2,122	2,068	△ 54	△ 2.6%	2,050
売上高		1,955	1,983	+ 28	+ 1.4%	2,020
事業利益		212	236	+ 24	+ 11.1%	240
事業利益率		10.9%	11.9%	+ 1.0pp	—	11.9%
その他の収支		+ 3	+ 13	+ 10	—	△ 2
営業利益		215	249	+ 34	+15.9%	238
税引前中間利益		214	246	+ 32	+ 14.8%	233
親会社の所有者に帰属する中間利益		149	172	+ 22	+ 15.0%	158
基本的1株当たり中間利益 (円)		132.83	155.90	+ 23.07	+ 17.4%	143.45
為替 レートの	USD (円)	152.6	146.0			140.0
	EUR (円)	166.0	168.1			160.0
	CNY (円)	21.2	20.3			20.0

(単位：億円)



事業利益の増減要因 (前年同期比)

(単位：億円)



(単位：億円)	2025/3期 上期実績	2026/3期 上期実績	2026/3期 上期予想 (5/8発表)	
			前期差	
受注高	976	875	△ 100	920
装置	401	268	△ 133	358
継続契約型サービス	256	285	+ 29	254
サービス	319	323	+ 5	308
薬品	61	58	△ 2	59
精密洗浄	146	131	△ 15	138
メンテナンス	112	134	+ 22	111
売上高	897	901	+ 4	960
装置	348	314	△ 34	423
継続契約型サービス	257	284	+ 27	254
サービス	291	303	+ 11	284
薬品	61	58	△ 2	59
精密洗浄	144	130	△ 14	138
メンテナンス	87	114	+ 27	86
事業利益	107	119	+ 12	120
事業利益率	11.9%	13.2%	+ 1.3pp	12.5%
営業利益	104	129	+ 25	120

装置

- 受注高・売上高は主に中国で大型案件を計上した反動により前年同期比で減少

継続契約型サービス

- 前期の2Qからサービスを開始した水供給案件と顧客の稼働状況の影響により増収

精密洗浄

- 主に海外で為替と顧客の稼働状況の影響により減収

メンテナンス

- 受注高・売上高ともに日本およびアジアで増加

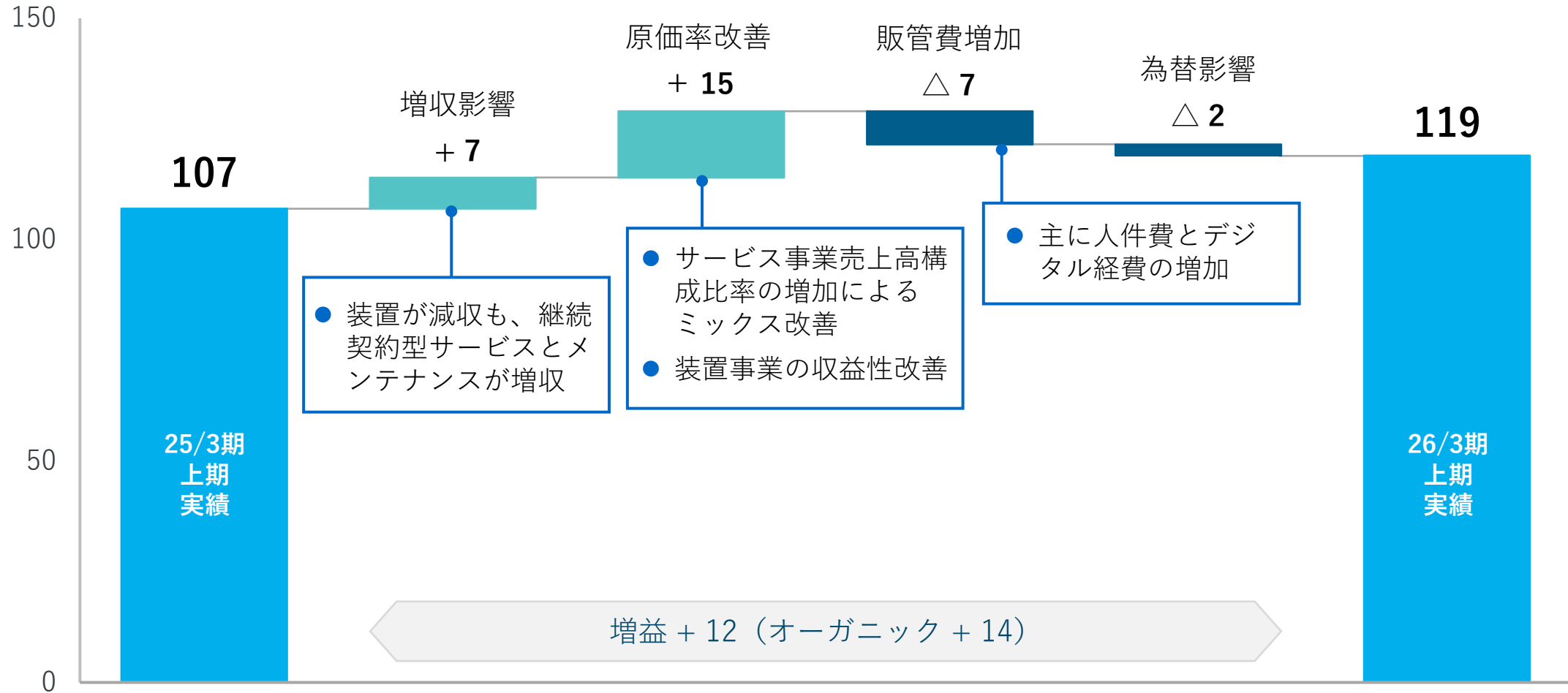
オーガニック増減	+ 25億円
為替影響	△ 20億円

水供給契約解除に伴う一時的な収益計上

※ 当期から欧米の電子装置事業の業績を一般水処理セグメントから電子セグメントに変更したことに伴い、2025年3月期実績も遡及修正しています。

事業利益の増減要因 (前年同期比)

(単位：億円)



(単位：億円)	2025/3期 上期実績	2026/3期 上期実績	2026/3期 上期予想 (5/8発表)	
			前期差	
受注高	1,147	1,192	+ 46	1,130
装置	163	175	+ 11	147
継続契約型サービス	54	59	+ 6	59
サービス	929	958	+ 29	925
薬品	598	598	△ 0	593
メンテナンス	276	285	+ 8	273
その他	54	76	+ 22	59
売上高	1,059	1,082	+ 23	1,060
装置	128	152	+ 23	130
継続契約型サービス	55	61	+ 6	61
サービス	875	869	△ 6	869
薬品	599	593	△ 6	594
メンテナンス	230	239	+ 10	233
その他	47	37	△ 10	42
事業利益	106	117	+ 11	120
事業利益率	10.0%	10.8%	+ 0.8pp	11.3%
営業利益	111	120	+ 9	118

装置

- 受注高は北米で官公需向け装置案件が増加
- 売上高は主に日本における工事進捗により増収

継続契約型サービス

- CSVビジネスの拡大により増収

薬品

- 為替影響を除くと受注高・売上高ともに微増
- ASEAN地域で景況感悪化の影響を受けるも、CSVビジネスの増加が貢献

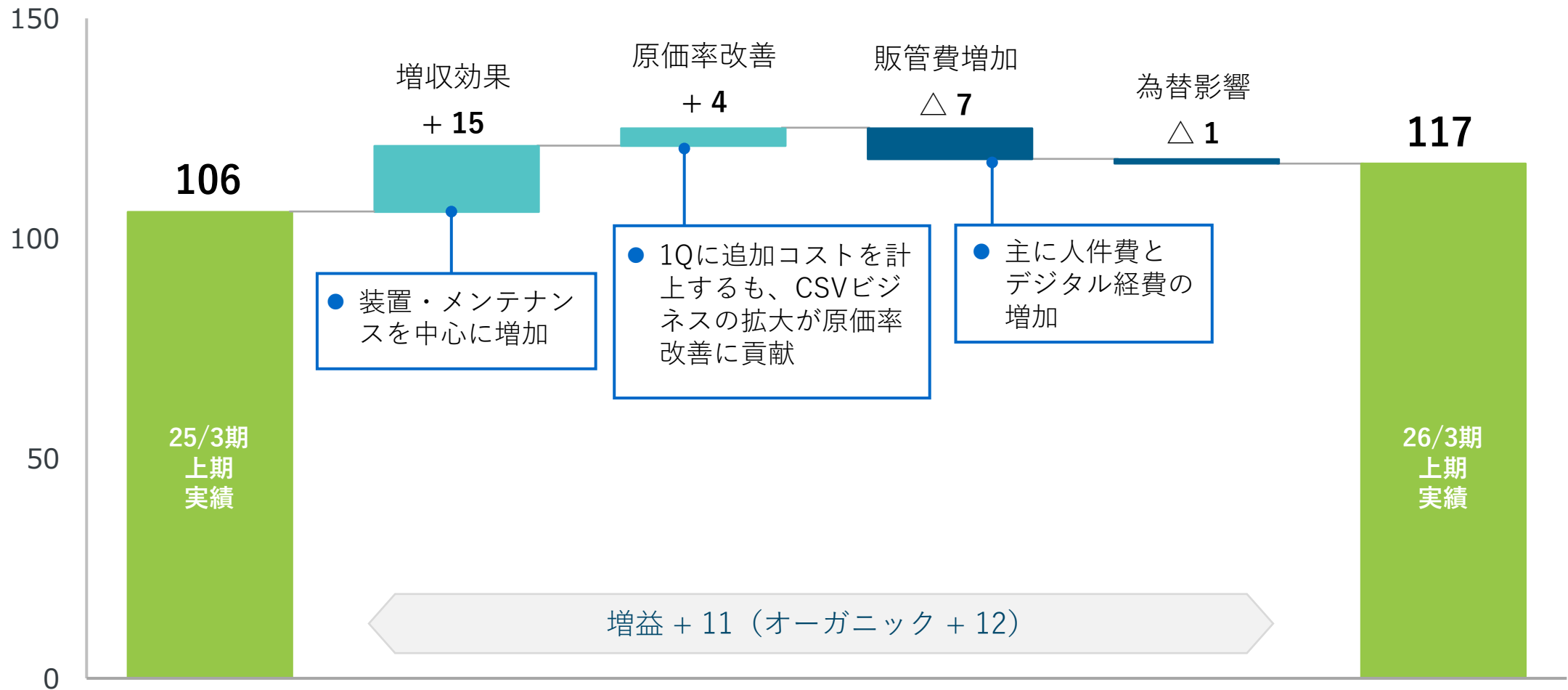
その他

- 土壌浄化で大型案件の受注があった一方で、売上高は案件の時期ずれにより減収

オーガニック増減	+ 34億円
為替影響	△ 11億円

※ 当期から欧米の電子装置事業の業績を一般水処理セグメントから電子セグメントに変更したことに伴い、2025年3月期実績も遡及修正しています。

(単位：億円)



CSVビジネス売上高

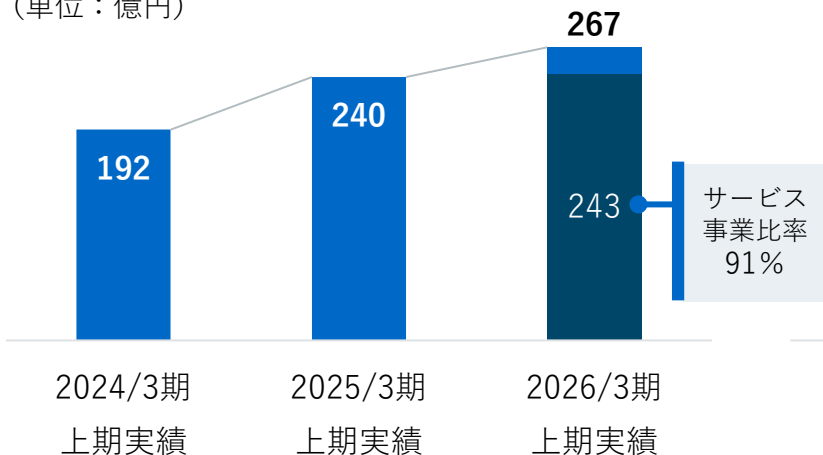
(単位：億円)	2025/3期 上期実績	2026/3期 上期実績	2026/3期 通期予想 (5/8発表)	
			前期差	
全社連結	240	267	+ 27	555
電子	69	59	△ 11	115
一般水処理	171	209	+ 38	440

CSVビジネスモデル数

(単位：モデル)	2025/3末	2025/9末	差
全社連結	96	118	+ 22

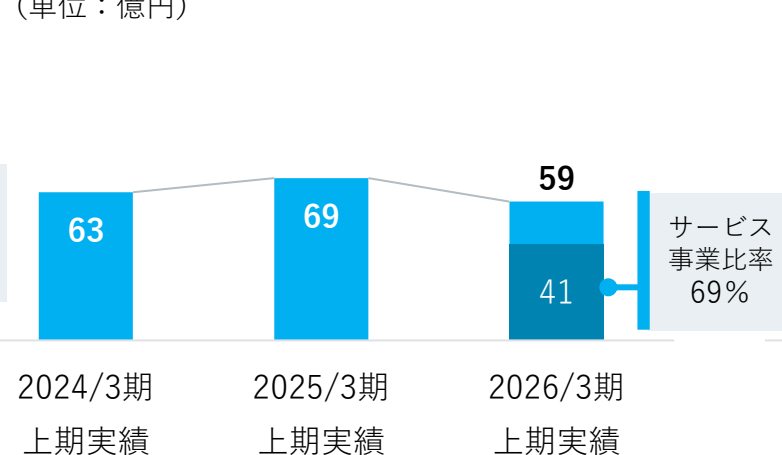
CSVビジネス売上高(全社連結)

(単位：億円)



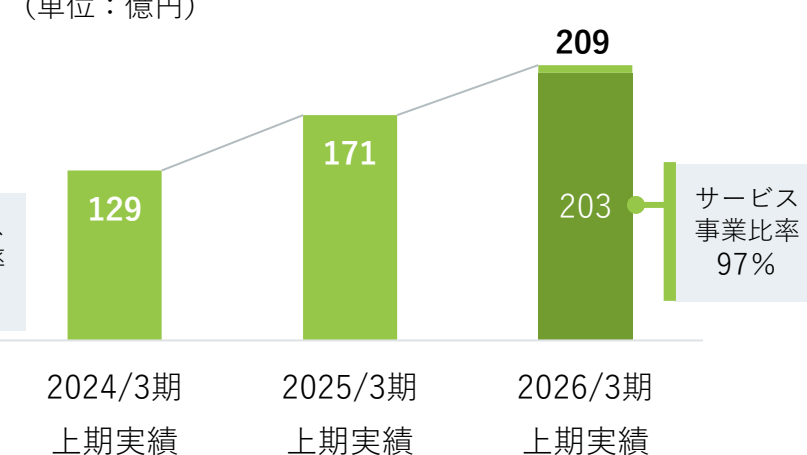
CSVビジネス売上高(電子)

(単位：億円)



CSVビジネス売上高(一般水処理)

(単位：億円)



地域別売上高



全社連結

(単位：億円)	2025/3期 上期実績	2026/3期 上期実績	2026/3期 上期予想 (5/8発表)	
			前期差	
日本	922	1,006	+ 84	979
アジア	486	423	△ 63	446
北南米	354	352	△ 3	398
EMEA	193	202	+ 9	197
合計	1,955	1,983	+ 28	2,020

電子

- 日本 (+)
継続契約型サービスや装置が増加
- アジア (-)
前年同期に中国で大型装置の売上計上があった反動

一般 水処理

- 日本 (+)
装置案件の工事進捗やメンテナンスが増加
- 北南米 (-)
為替影響および前年同期に官公需向け装置案件の売上計上が高水準であった反動

電子

(単位：億円)	2025/3期 上期実績	2026/3期 上期実績	2026/3期 上期予想 (5/8発表)	
			前期差	
日本	395	443	+ 48	434
アジア	376	309	△ 67	335
北南米	106	120	+ 14	167
EMEA	20	29	+ 9	24
合計	897	901	+ 4	960

一般 水処理

(単位：億円)	2025/3期 上期実績	2026/3期 上期実績	2026/3期 上期予想 (5/8発表)	
			前期差	
日本	527	563	+ 36	545
アジア	110	114	+ 4	111
北南米	249	232	△ 17	231
EMEA	173	173	△ 0	173
合計	1,059	1,082	+ 23	1,060

※ 当1Qから欧米の電子装置事業の業績を一般セグメントから電子にセグメントに変更したことに伴い、2025年3月期実績も遡及修正しています。

設備投資額・減価償却費・研究開発費

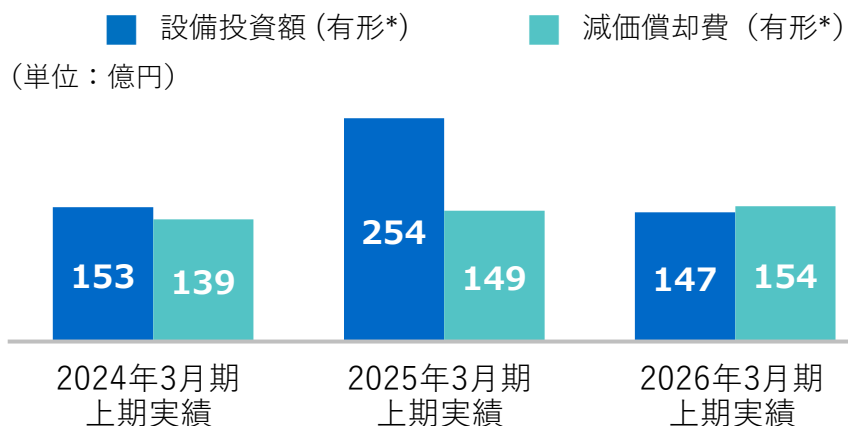


(単位：億円)	2025/3期 上期実績	2026/3期 上期実績	2026/3期 予想 (5/8発表)	
			前期差	
設備投資額 (有形*)	254	147	△ 107	229
減価償却費 (有形*)	149	154	+ 5	325
研究開発費	42	40	△ 2	80

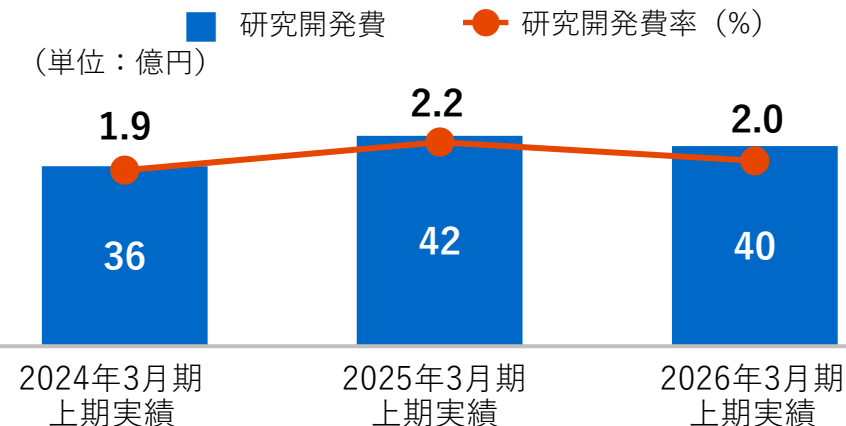
- 設備投資額は、水供給サービスおよび精密洗浄事業向けの投資が前年同期比で減少
- 減価償却費は、前期2Qから新しい水供給サービスが開始したことに伴い前年同期比で微増
- 研究開発費は、前年同期の水準を維持

* 使用権資産含む。

設備投資額・減価償却費



研究開発費



財政状態



(単位：億円)	2025年3月末	2025年9月末	増減	
現金及び現金同等物	630	652	+ 23	
営業債権及びその他債権	1,264	1,279	+ 15	
棚卸資産	207	212	+ 5	主に契約資産の増加
その他流動資産	109	106	△ 3	
流動資産合計	2,210	2,250	+ 40	為替変動により増加
有形固定資産	1,954	1,952	△ 2	
のれん	663	679	+ 16	
その他非流動資産	662	659	△ 4	
非流動資産合計	3,280	3,290	+ 10	
資産合計	5,489	5,539	+ 50	
流動負債	1,326	1,294	△ 32	
非流動負債	779	859	+ 80	社債の発行により増加
負債合計	2,104	2,152	+ 48	
親会社の所有者に帰属する持分	3,360	3,361	+ 1	
非支配持分	25	26	+ 1	自己株式の取得により減少した一方で利益剰余金が増加
資本合計	3,385	3,387	+ 2	
負債及び資本合計	5,489	5,539	+ 50	

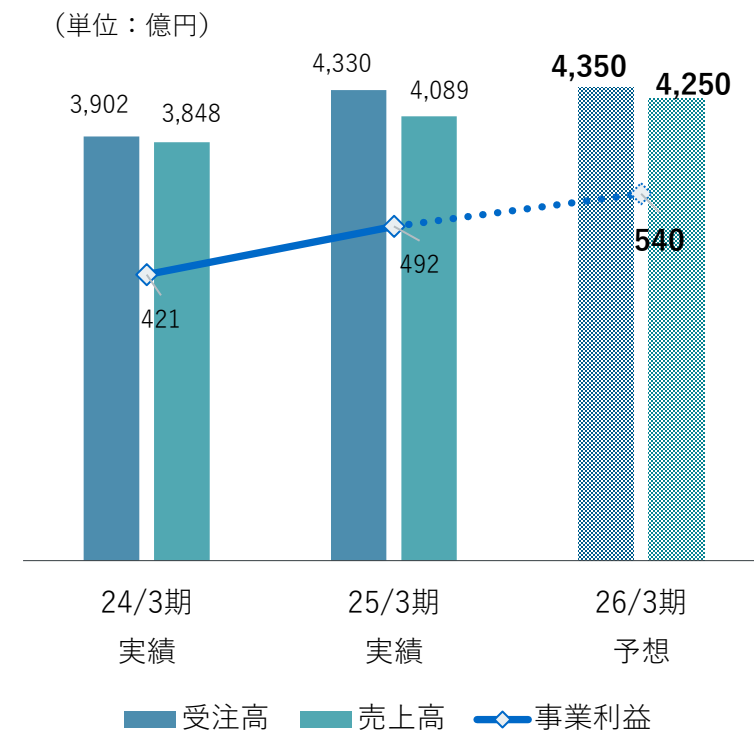
2

2026年3月期 通期業績予想

業績予想の概要

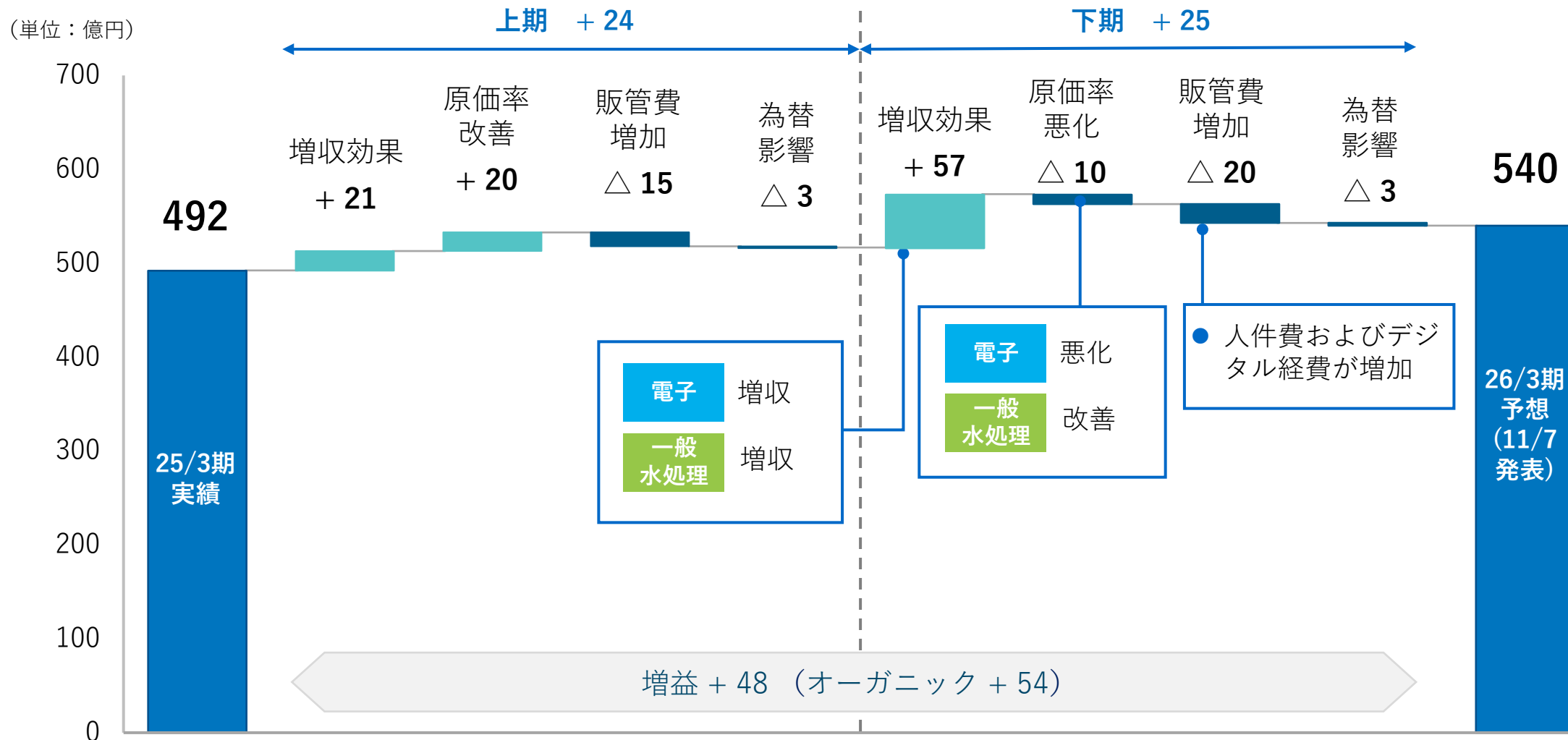


(単位：億円)	期初予想 (5/8発表)	通期予想 (11/7発表)	期初予想差	2025/3期 実績	
受注高	4,250	4,350	+ 100	4,330	
売上高	4,250	4,250	—	4,089	
事業利益	540	540	—	492	
事業利益率	12.7%	12.7%	—	12.0%	
その他の収支	△ 5	△ 5	—	△ 179	
営業利益	535	535	—	313	
税引前利益	525	525	—	318	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	363	363	—	203	
基本的1株当たり 当期利益 (円)	330.72*	330.62*	△ 0.1	180.66	
親会社所有者帰属持分 当期利益率 (ROE)	10.7%	10.7%	—	6.1%	
投下資本利益率 (ROIC)	8.7%	8.7%	—	8.8%	
為替 レ ート	USD (円)	140.0	146.0	—	152.6
	EUR (円)	160.0	168.1	—	163.8
	CNY (円)	20.0	20.3	—	21.1



*自己株式取得等により自己株式の期中平均株式数に変更となったため、期初予想 (5/8発表) から変更となっています。

事業利益の増減要因 (前期比)



(単位：億円)	期初予想 (5/8発表)	通期予想 (11/7発表)	期初予想差	2025/3期 実績
受注高	2,100	2,130	+ 30	2,144
装置	949	961	+ 12	962
継続契約型サービス	514	525	+ 11	548
サービス	637	644	+ 7	634
薬品	115	113	△ 2	116
精密洗浄	293	290	△ 3	286
メンテナンス	229	241	+ 12	232
売上高	2,050	1,990	△ 60	1,896
装置	908	812	△ 95	738
継続契約型サービス	513	524	+ 11	548
サービス	629	654	+ 24	610
薬品	115	114	△ 1	116
精密洗浄	293	290	△ 3	286
メンテナンス	222	251	+ 29	208
事業利益	260	260	—	245
事業利益率	12.7%	13.1%	+ 0.4pp	12.9%
営業利益	260	265	+ 5	92

装置

- 受注高は韓国での上期の大型案件の獲得を反映し、上方修正
- 売上高は主にアジアと北米の工事進捗を踏まえて下方修正

継続契約型サービス

- 水供給案件のお客様の工場稼働の状況を踏まえて上方修正

精密洗浄

- 上期までの進捗を反映

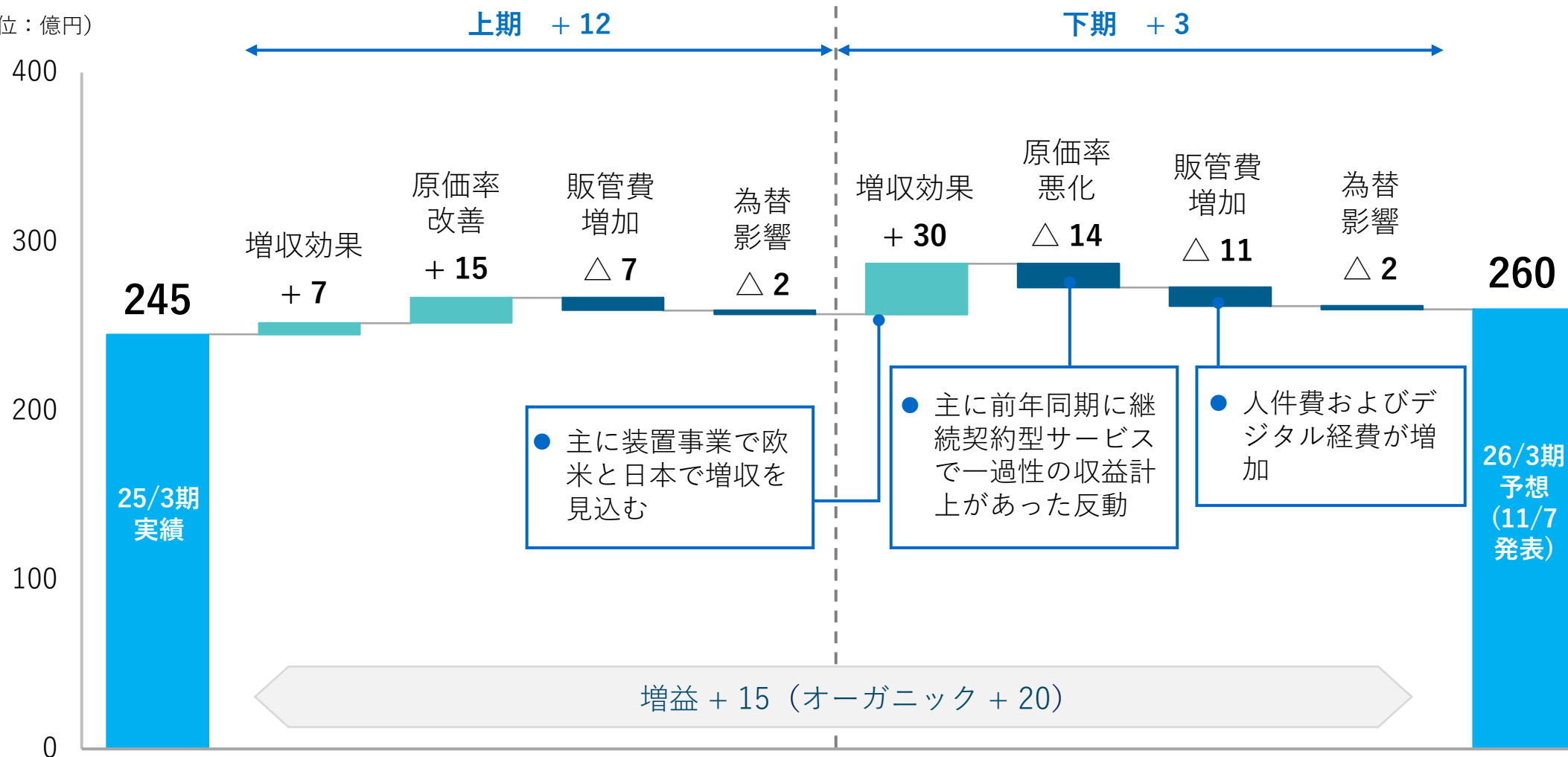
メンテナンス

- 日本と韓国で上方修正

オーガニック増減	△ 80億円
為替影響	+ 20億円

※ 当期から欧米の電子装置事業の業績を一般水処理セグメントから電子セグメントに変更したことに伴い、2025年3月期実績も遡及修正しています。

(単位：億円)



※ 当期から欧米の電子装置事業の業績を一般水処理セグメントから電子セグメントに変更したことに伴い、2025年3月期実績も遡及修正しています。

(単位：億円)	期初予想 (5/8発表)	通期予想 (11/7発表)	期初予想差	2025/3期 実績
受注高	2,150	2,220	+ 70	2,185
装置	293	318	+ 26	311
継続契約型サービス	119	120	+ 1	114
サービス	1,738	1,781	+ 43	1,761
薬品	1,187	1,187	+ 1	1,183
メンテナンス	459	490	+ 31	488
その他	93	104	+ 11	89
売上高	2,200	2,260	+ 60	2,193
装置	328	366	+ 38	322
継続契約型サービス	116	119	+ 2	112
サービス	1,756	1,776	+ 19	1,760
薬品	1,178	1,183	+ 5	1,181
メンテナンス	492	498	+ 6	489
その他	87	95	+ 8	90
事業利益	280	280	—	247
事業利益率	12.7%	12.4%	△ 0.3pp	11.3%
営業利益	275	270	△ 5	221

装置

- 受注高は上期進捗を踏まえ日本と北米で上方修正
- 売上高は日本や北米で受注済案件の工事進捗を受け上方修正

薬品

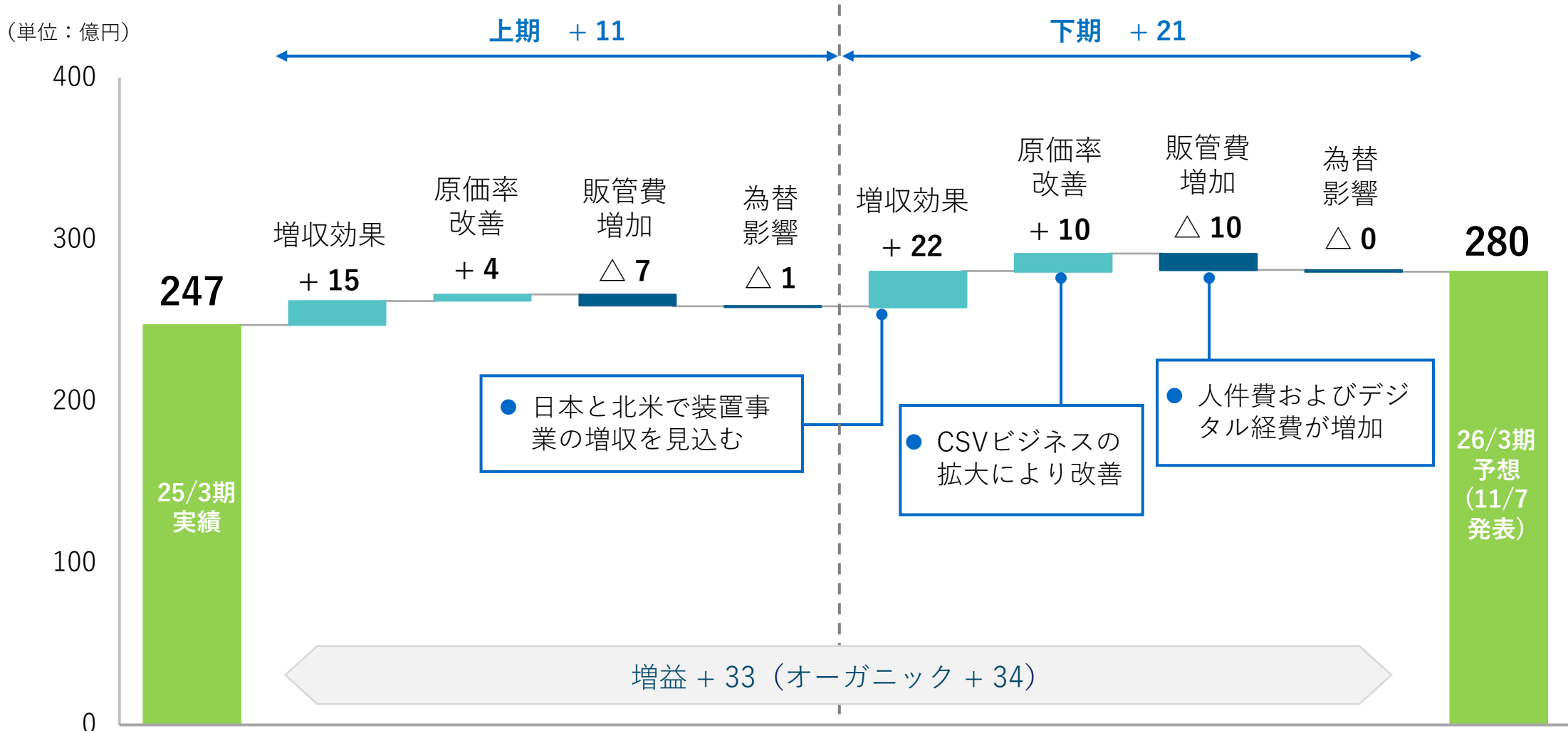
- ASEAN地域での景況感など、上期までのトレンドを下期に反映し、オーガニックでは下方修正
- CSVビジネスは順調な伸びを引き続き見込む

メンテナンス

- 上期までの進捗を反映

オーガニック増減	+ 14億円
為替影響	+ 46億円

※ 当期から欧米の電子装置事業の業績を一般水処理セグメントから電子セグメントに変更したことに伴い、2025年3月期実績も遡及修正しています。



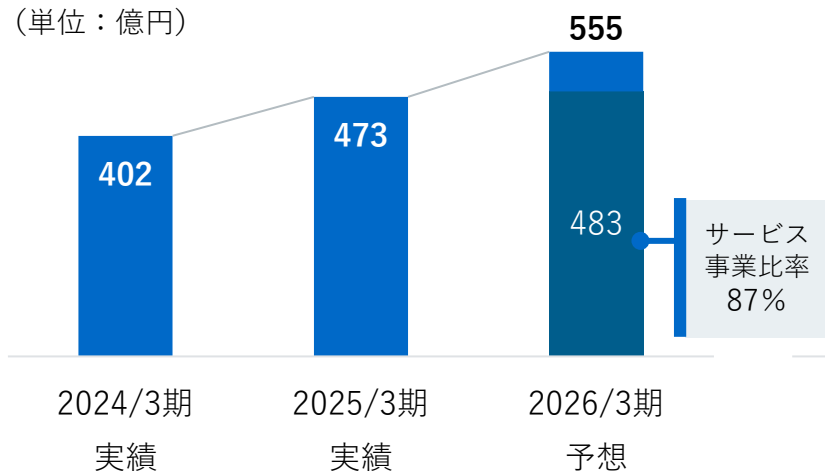
※ 当期から欧米の電子装置事業の業績を一般水処理セグメントから電子セグメントに変更したことに伴い、2025年3月期実績も遡及修正しています。

CSVビジネス売上高

(単位：億円)	期初予想 (5/8発表)	通期予想 (11/7発表)	期初予想差	2025/3期 実績
全社連結	555	555	—	473
電子	115	115	—	122
一般水処理	440	440	—	350

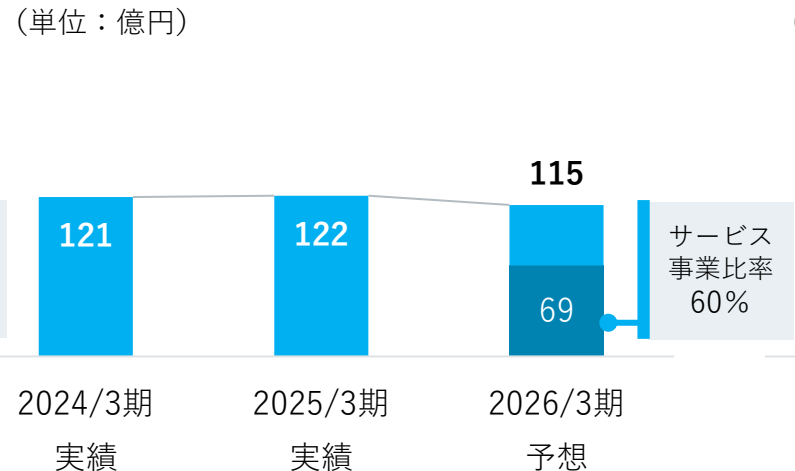
CSVビジネス売上高(全社連結)

(単位：億円)



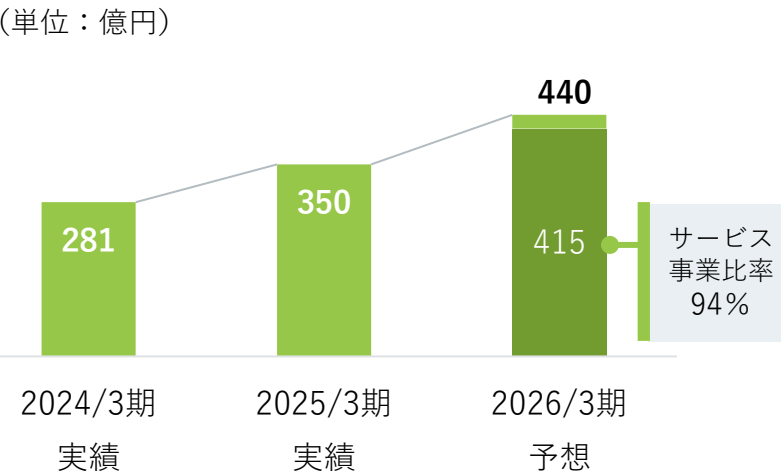
CSVビジネス売上高(電子)

(単位：億円)



CSVビジネス売上高(一般水処理)

(単位：億円)



地域別売上高



地域別売上高（全社連結）

(単位：億円)	期初予想 (5/8発表)	通期予想 (11/7発表)	期初予想差	2025/3期 実績
日本	2,143	2,086	△ 57	1,966
アジア	911	922	+ 10	996
北南米	805	794	△ 11	741
EMEA	391	448	+ 58	385
合計	4,250	4,250	—	4,089

電子

- 日本（-）、EMEA（+）
欧州の大型装置案件の計上地域を日本から欧州に見直したことによるもの
- 北南米（-）
前期に獲得した大型装置案件の工事計画の見直し

一般 水処理

- 日本（+）
装置事業の工事進捗の前倒しを見込む
- 北南米（+）
為替影響のほか官公需の装置案件の工事進捗を見込む

電子 地域別売上高

(単位：億円)	期初予想 (5/8発表)	通期予想 (11/7発表)	期初予想差	2025/3期 実績
日本	975	900	△ 75	848
アジア	686	687	+ 1	763
北南米	341	301	△ 40	244
EMEA	48	102	+ 53	41
合計	2,050	1,990	△ 60	1,896

一般 水処理

地域別売上高

(単位：億円)	期初予想 (5/8発表)	通期予想 (11/7発表)	期初予想差	2025/3期 実績
日本	1,168	1,186	+ 18	1,118
アジア	226	235	+ 9	233
北南米	464	493	+ 29	498
EMEA	342	347	+ 4	344
合計	2,200	2,260	+ 60	2,193

*当1Qから欧米の電子装置事業の業績を一般セグメントから電子にセグメントに変更したことに伴い、2025年3月期実績も遡及修正しています。

設備投資額・減価償却費・研究開発費

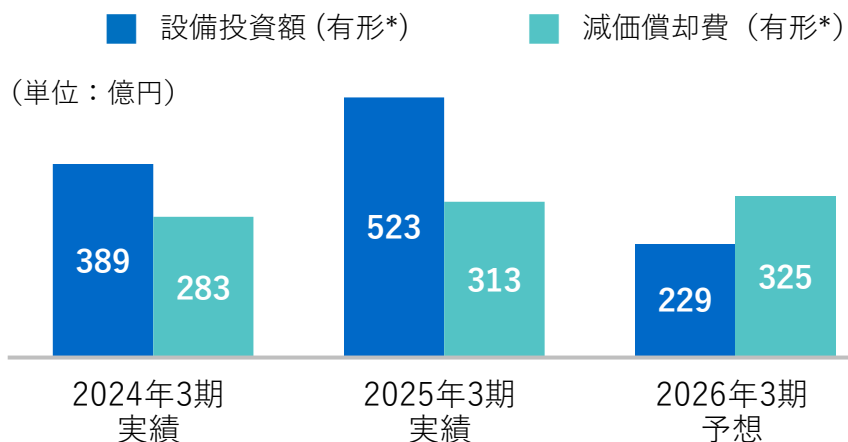


(単位：億円)	期初予想 (5/8発表)	通期予想 (11/7発表)	期初予想差	2025/3期 実績
設備投資額 (有形*)	229	229	—	523
減価償却費 (有形*)	325	325	—	313
研究開発費	80	80	—	81

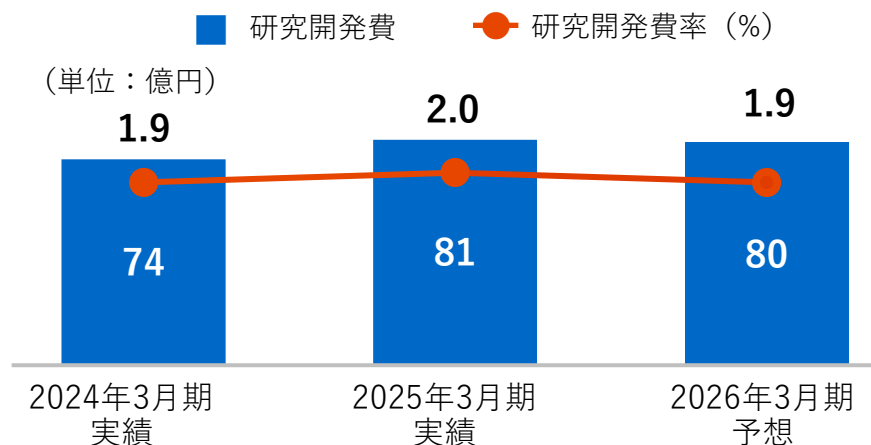
- 設備投資額、減価償却費、研究開発費は、いずれも期初予想を据え置く。

* 使用権資産含む。

設備投資額・減価償却費



研究開発費



3

PSV-27計画の進捗状況

クリタグループとは、



水の力で産業・社会の課題に答えを出す会社。

薬品、装置、メンテナンスサービスの3つの手段を駆使した
「全体最適アプローチ」で、
一社一社に最適な解を導き出し、
世界中で55,000社以上のお客様から選ばれています。

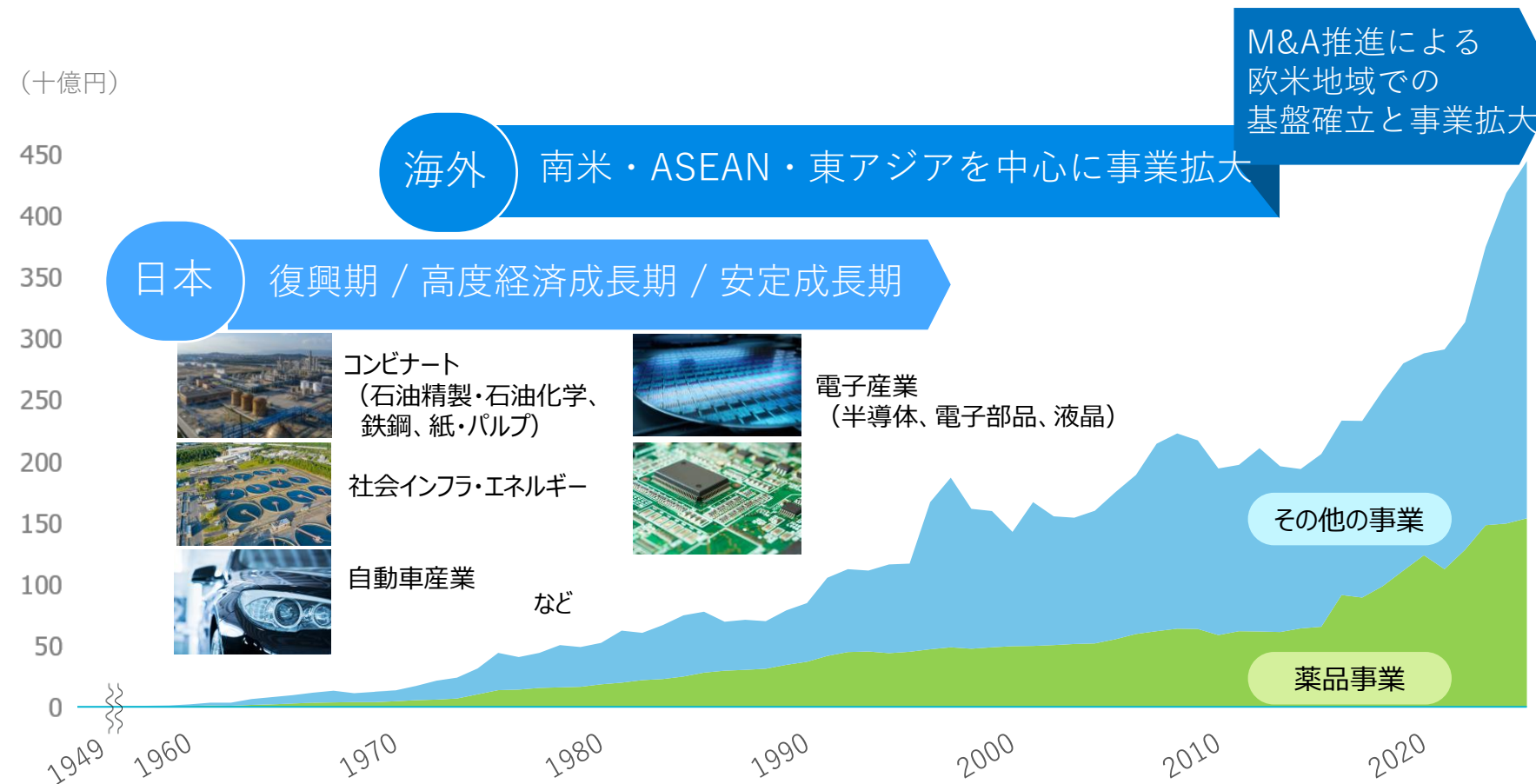
1949年の創業以来、私たちが追い求めてきたこと。
それは、お客様の事業成長と、
より良い地球環境づくりを両立させること。
事業が発展すればするほど、地球がよみがえる、
そんな好循環を築いていくことです。

水と向き合う中で磨いてきた知見と経験、技術である
「Kurita Water Intelligence」の進化で、
より良い産業、より良い地球の未来をつくる。

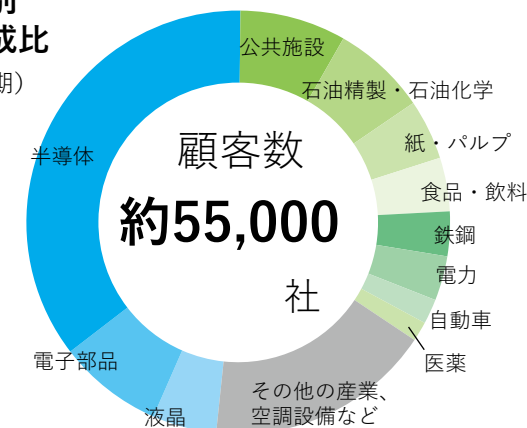
「クリタがいてくれてよかった」
世界中の人々からそう言われる企業になることをめざしています。

クリタグループのあゆみと現場接点の広がり

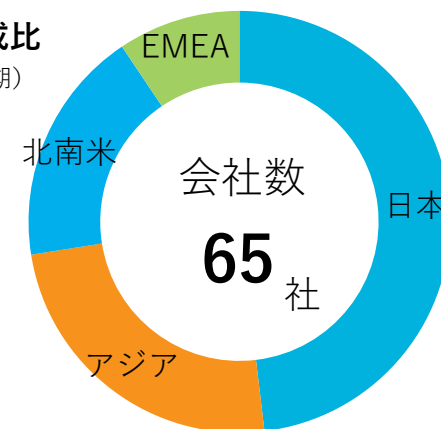
水を必要とする幅広い産業の課題に答え続けることで現場接点をグローバルに拡大



顧客業種別
売上高構成比
(2025年3月期)

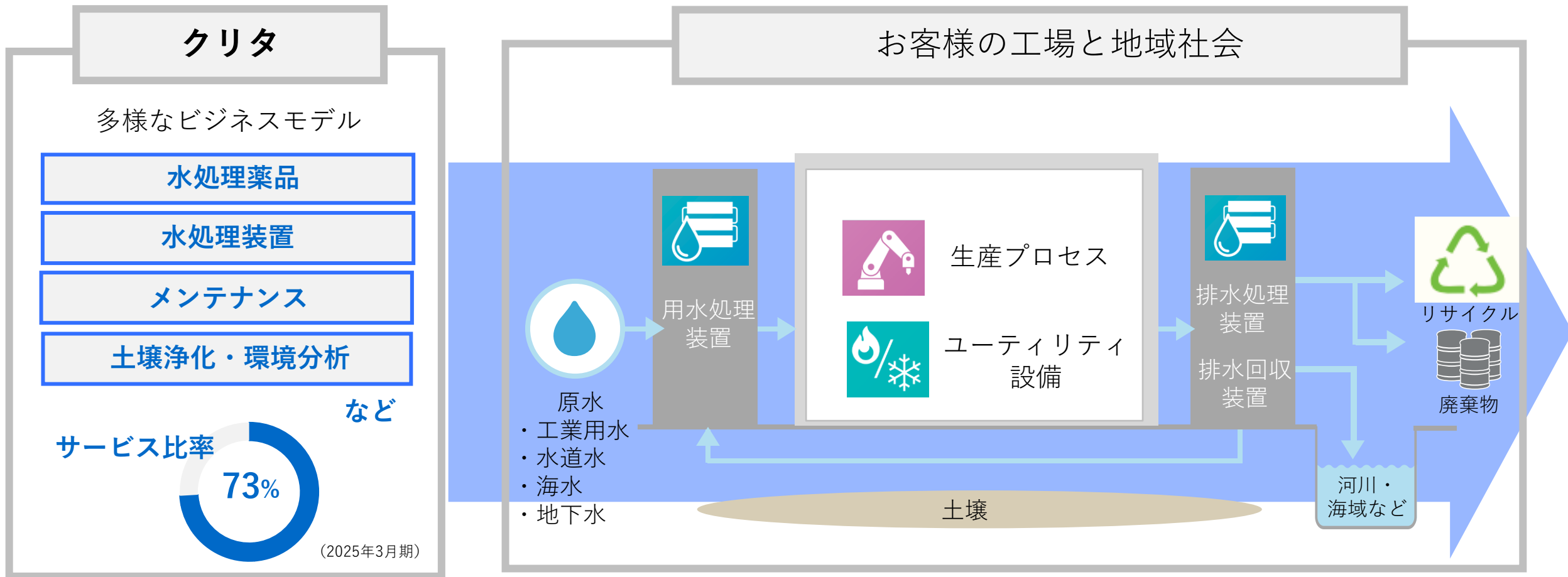


地域別
売上高構成比
(2025年3月期)



生産現場における接点の深さ

多様なビジネスモデルが可能にする**深い現場接点**から**産業・社会課題**を解決



PSV-27計画の全体像

全体戦略

薬品・装置・メンテナンスの
知見を発揮する

**全体最適アプローチ
の展開**

成長度や魅力度の高い
市場・分野に注力する

**事業ポートフォリオ
の最適化**

社会価値起点で
将来の成長の柱となる

新事業の創出

企業価値の最大化に
資する

資本効率の向上

PSV-27計画の主要戦略

電子

一般水処理

新規事業

財務戦略

装置案件から
サービス事業の
グローバル展開

CSVビジネスの
拡大

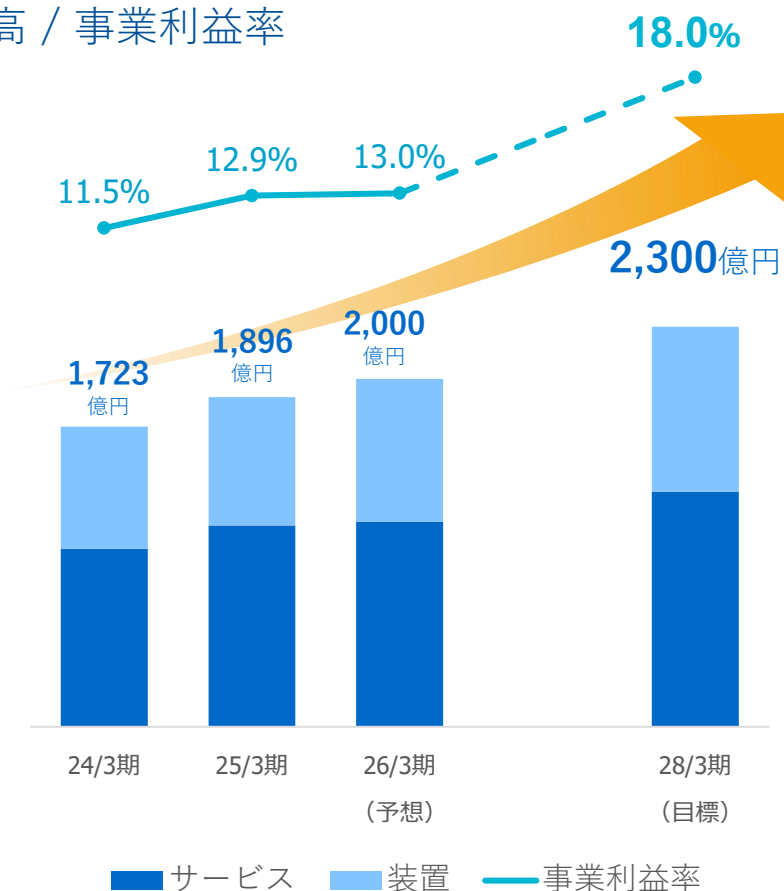
水処理を超える
新規事業

キャッシュ・
アロケーション

PSV-27計画の経営目標の達成

半導体産業における市場機会を捉え**装置案件**を起点に**サービス事業**を拡大

売上高 / 事業利益率



市場機会

半導体市場の年平均成長率：+8.8%

半導体工場における排水量の増加

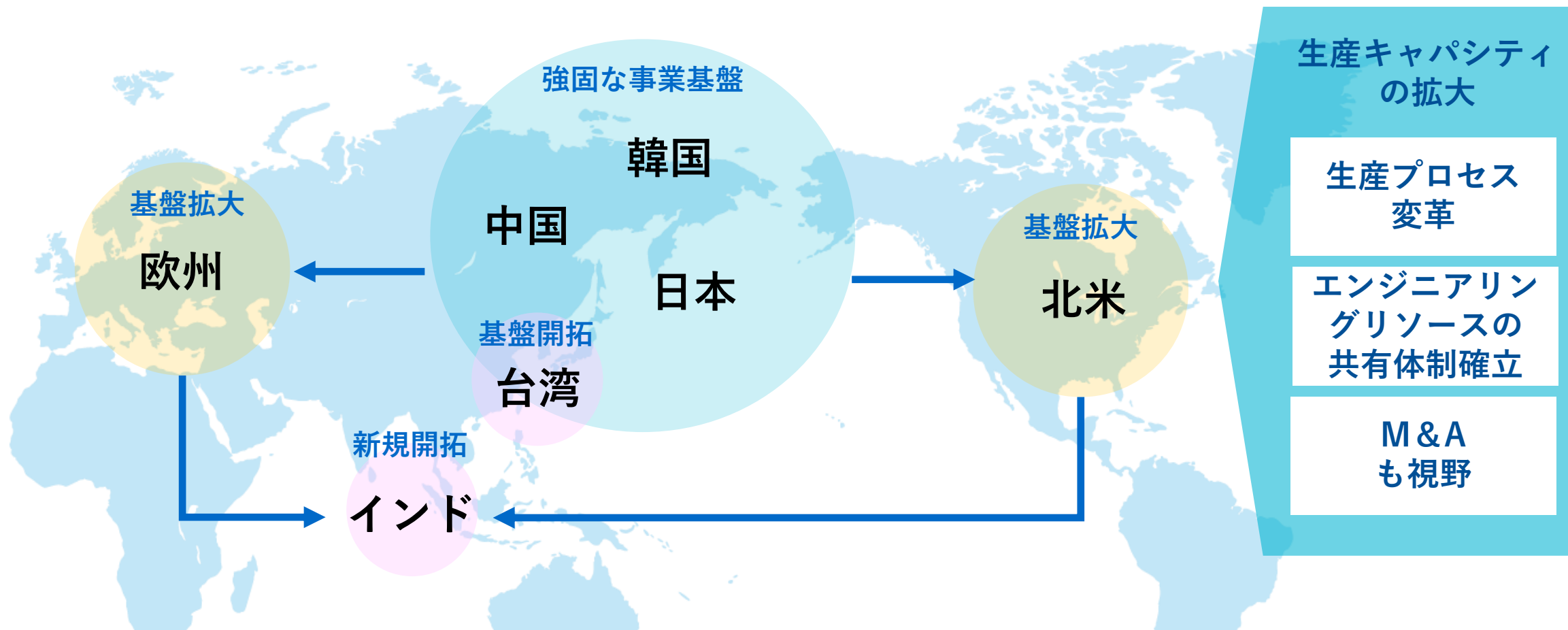


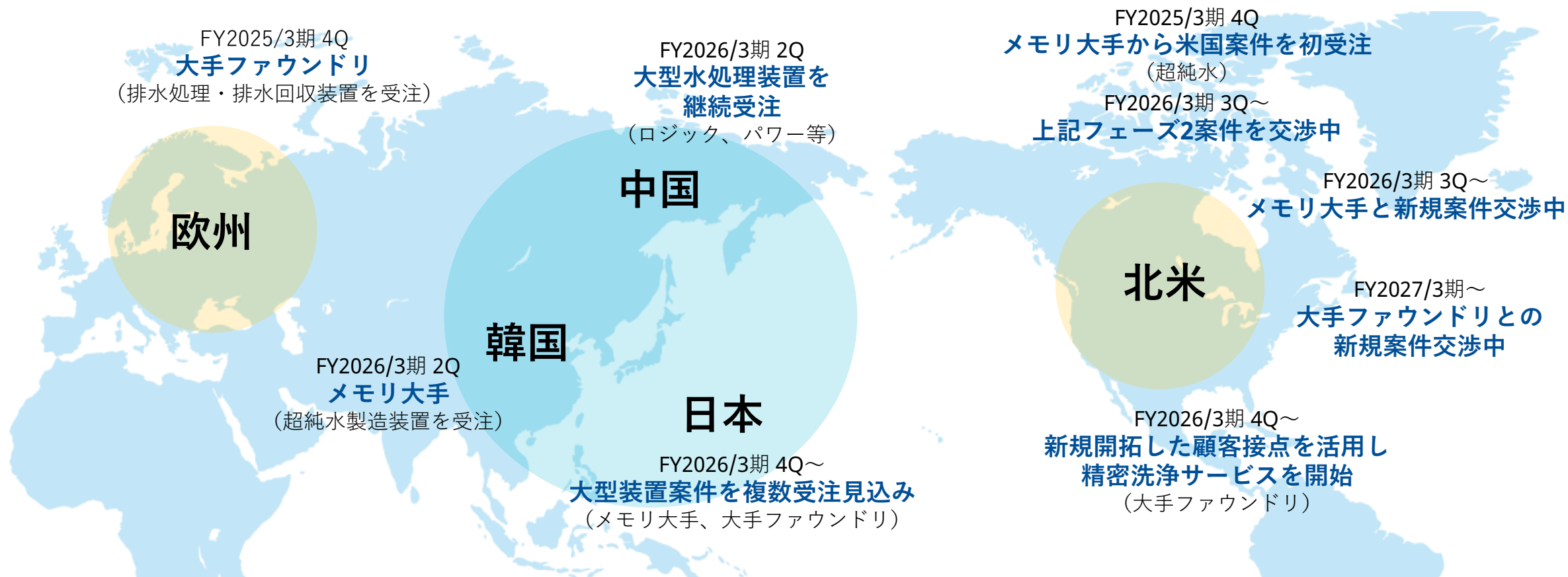
主要な取り組み

グローバル事業基盤の構築

生産キャパシティの強化

グローバルにサービス事業基盤を含む生産体制を構築し、
市場成長を売上成長に紐づける



グローバルアカウントの大型装置案件を**継続的に受注**装置案件からの**サービス事業展開**も進捗

強固な顧客基盤から生まれる装置案件が、サービス事業の成長ポテンシャルを高める



※1 SEMI公表データを基に栗田工業にて推計

※2 Serviceable Obtainable Market

【サービス事業】持続的成長の源泉



メンテナンス

毎年期待される
売上規模のイメージ



薬品

装置受注規模の
約4~5%



運転管理

装置受注規模の
約1~2%



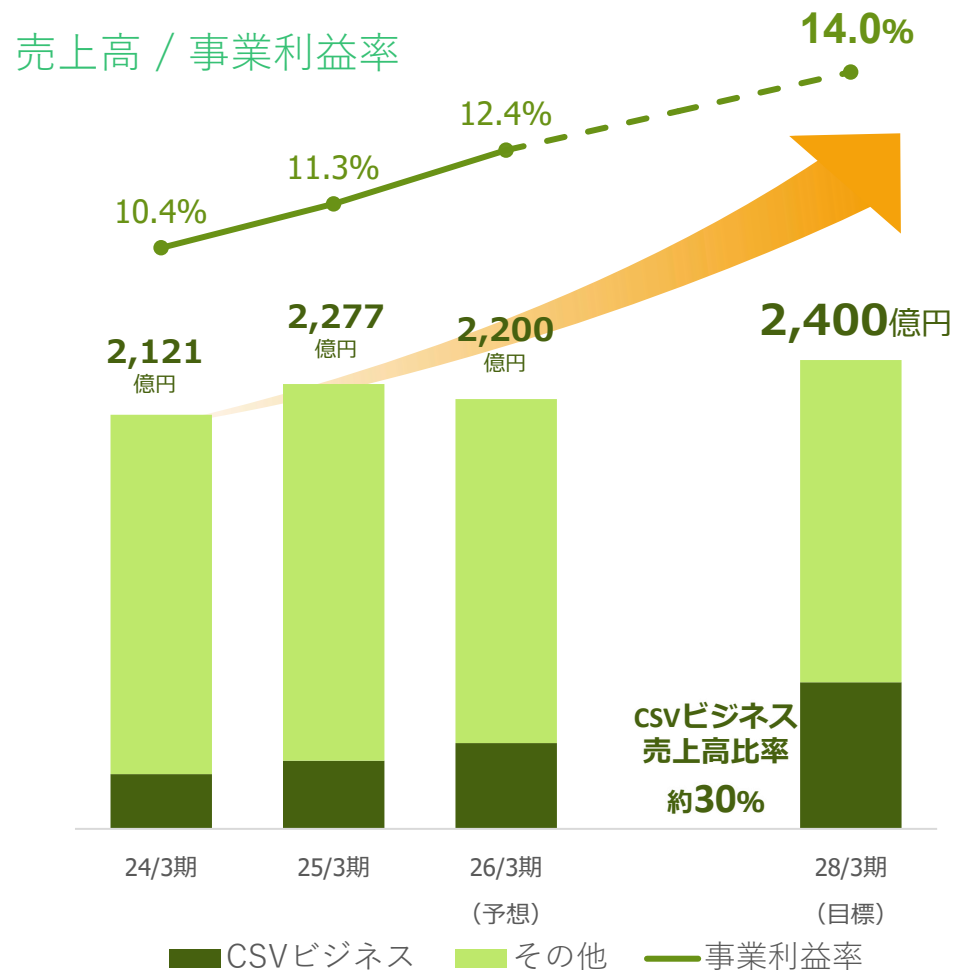
精密洗浄

設備投資規模の
約20%



水供給
サービス

グローバルでのシェア拡大と収益性向上により**継続的な成長**を実現



市場機会

新興国市場のGDPは対前年+4%が継続
低シェアの地域・市場の存在
エネルギー・水コストの上昇

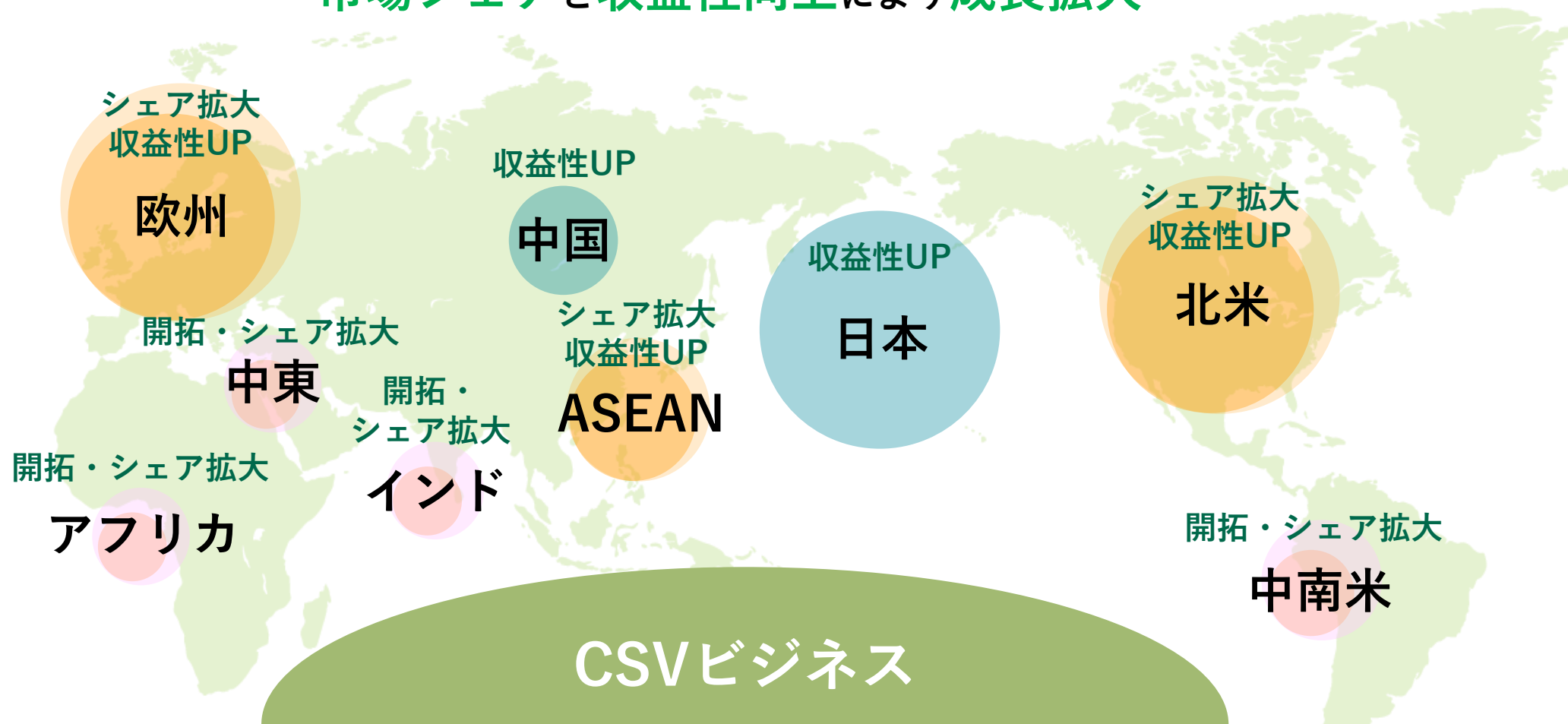


主要な取り組み

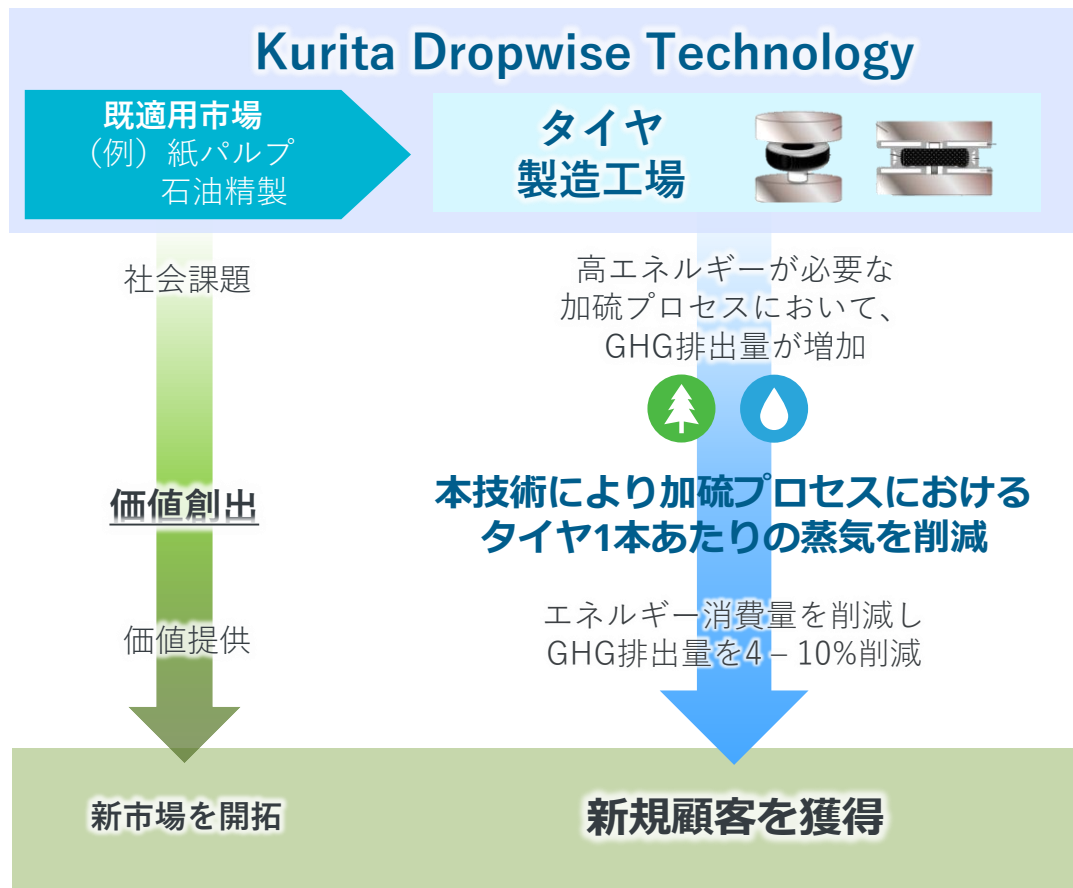
地域市場別戦略の推進

CSVビジネスの拡大

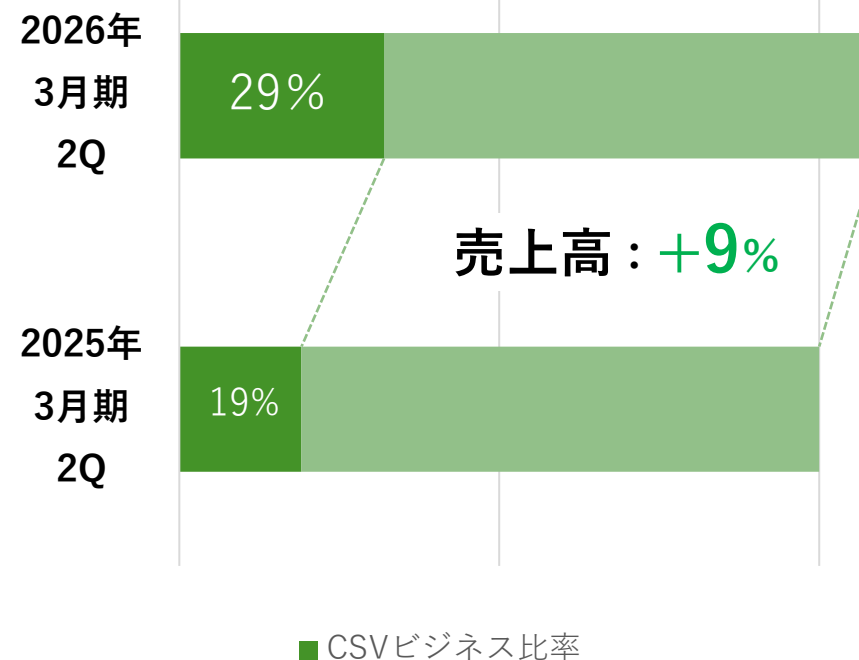
グローバルな事業基盤を活かし**地域市場別戦略**を展開し、
市場シェアと**収益性向上**により**成長拡大**



CSVビジネスの新市場展開や新モデルの創出により 新興国市場におけるシェア拡大に寄与



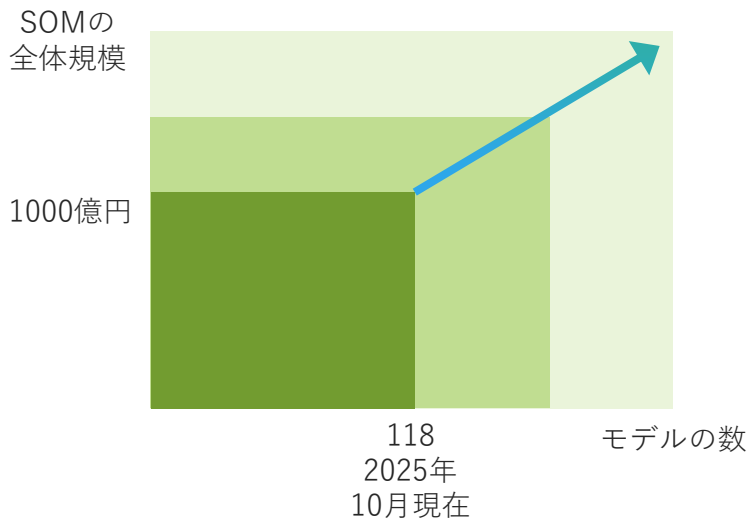
新興国における売上高増 (中東・アフリカ・インド・中南米)



量・質・戦略的マーケティングの相乗効果により
市場シェアと収益性向上を加速



KPI SOM*



KPI 収益性

- 定期的なレビューによる高提供価値の維持
- 知的財産権等による参入障壁

KPI 獲得率

- 営業担当者の質の向上
- お客様への適切なアプローチ
- グループ内連携

*Serviceable Obtainable Market

将来の成長機会となる新規事業を創出・上市

PFAS対策

既出の課題と将来的な課題を捉え、お客様のパートナーとしてソリューションを提供。



水質分析



除去



モニタリング



無害化

PFAS対応のトップランナー

リチウム資源回収ビジネス

リチウム供給不足が見込まれる中、DLE(Direct Lithium Extraction)が低環境負荷かつ生産速度が速いため、将来の市場性が高い。

クリタ
グループ



Evove



技術シナジーとDLEビジネスへの参入



リチウム抽出装置を
EP+モジュールにより提供

宇宙経済圏向け 水循環ソリューション事業

人類が活動する上で必要不可欠な水は、地球から輸送すると膨大なコストを要するため、宇宙空間での水処理ニーズは高い。

クリタ
グループ



ispace

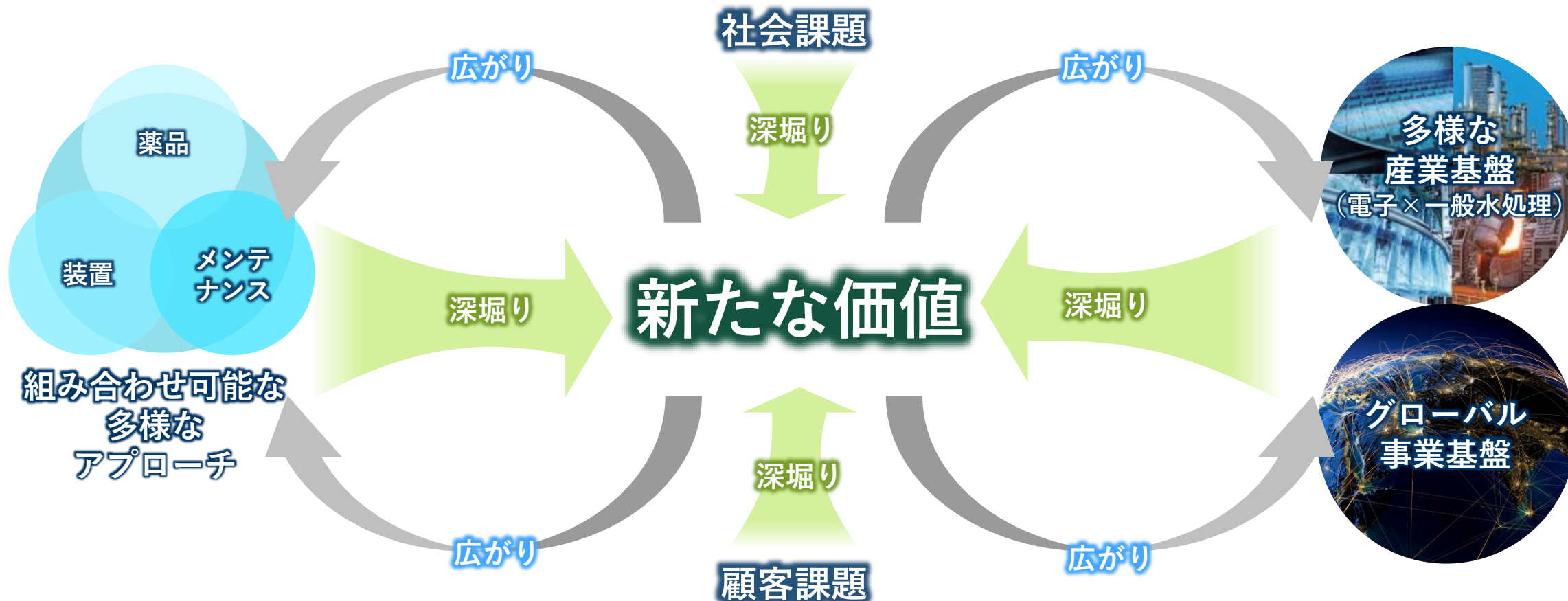


月面での水資源の利活用に関する
取り組みを加速

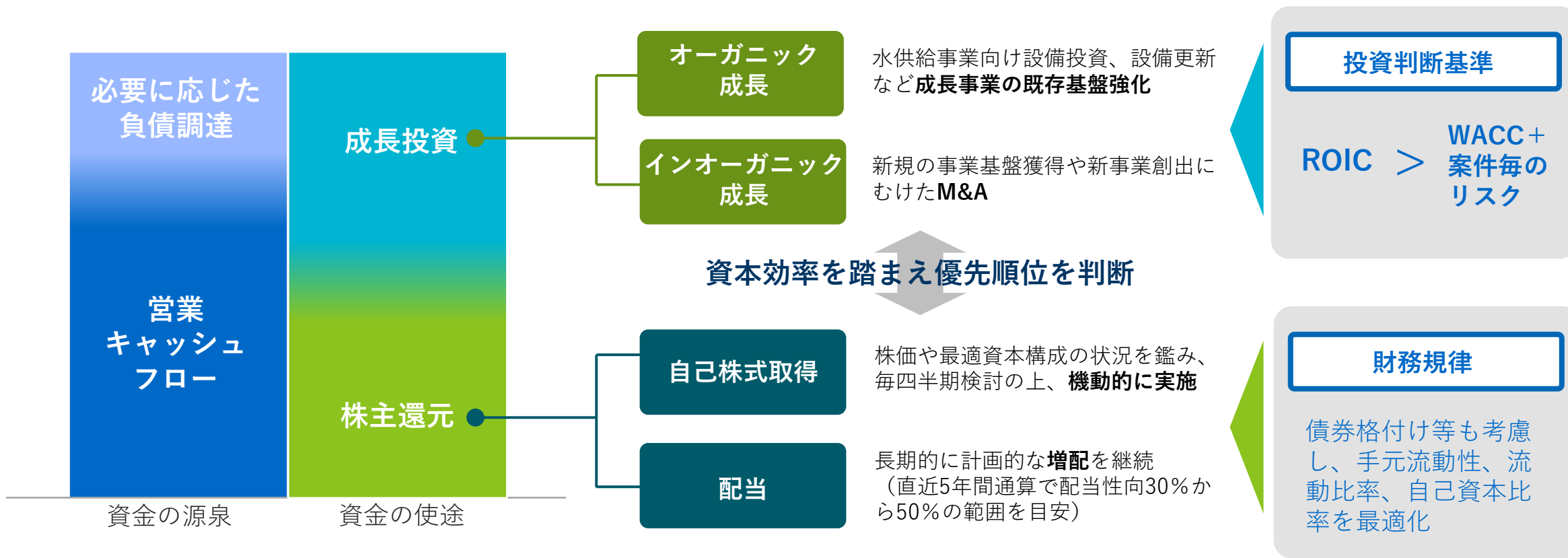


宇宙分野における水の知見

多様性と課題対応の追求により創出された新しい価値が
さらなる多様な広がりへと繋がり、**プレミアム**を創出



資本効率を強く意識し、 成長投資と株主還元のバランスを重視





トップライン成長を実現すべく
ボルトオンと**新領域進出**の両面からPSV-27計画以降も見据えた**成長投資**を実施


2015年以降に実施したM&A

買収対象	取得時期	本社所在地
BK Giulini GmbH	2015	ドイツ
Hansu Co., Ltd.	2017	韓国
Fremont Industries, LLC	2017	アメリカ
Fracta, Inc.	2018	アメリカ
U.S. Water Services, Inc.	2019	アメリカ
Avista Technologies, Inc.	2019	アメリカ
Pentagon Technologies Group, Inc.	2019	アメリカ
Kurita AquaChemie, Ltd.	2021	UAE
Keytech Water Management	2021	カナダ
Arcade Engineering GmbH	2023	ドイツ

効果

- 

～ **事業基盤の獲得** ～
 海外売上高比率
 21% ⇒ 52%
 (2015/3期) (2025/3期)
- 

CSVビジネスに関わる
 ～ **技術の獲得** ～
 118モデル中、27モデルで
 買収先企業の技術を活用
- 

～ **DXの加速** ～
 設計自動化
 水処理装置の最適運転 等

2025年以降の中期的なM&Aの方向性

- 電子セグメント**

 - グローバル事業基盤の強化
 - サービス提供体制の整備
- 一般水処理セグメント**

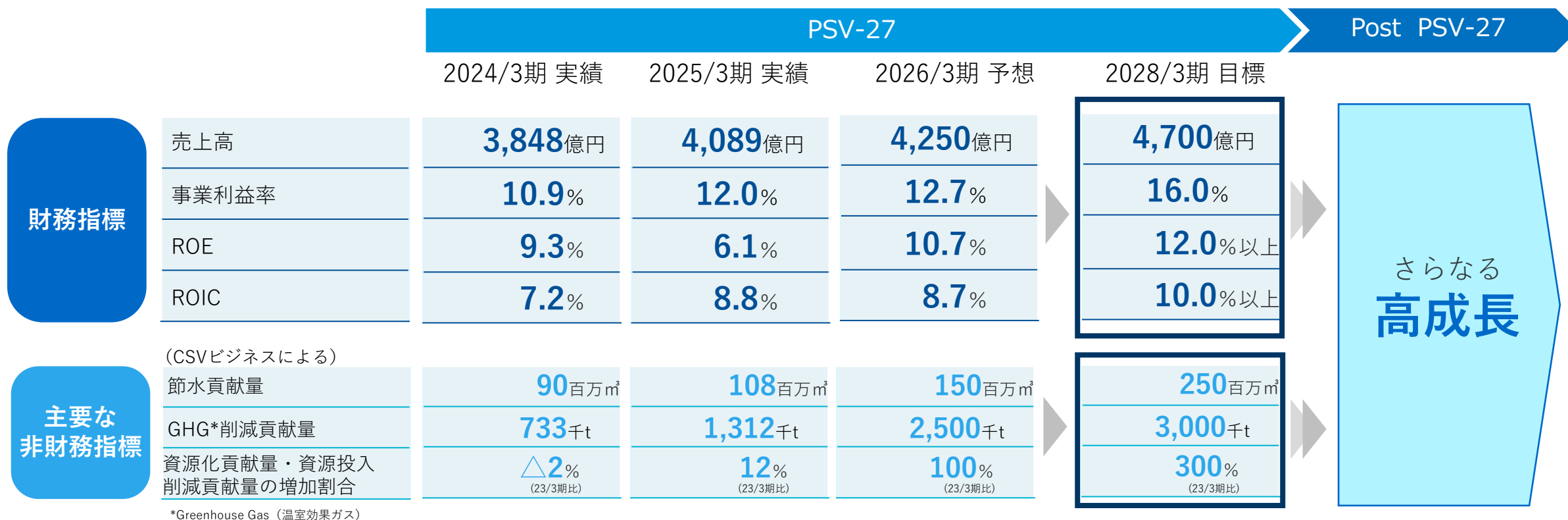
 - CSVビジネスの展開基盤拡大、技術獲得
 - 全体最適アプローチのグローバル展開
- 新規事業**

 - PFAS
 - 資源循環、資源活用
 - 宇宙

PSV-27の達成と次の目標に向けて



PSV-27 計画の達成に向けた取り組みと 次期中計に向けた準備を加速

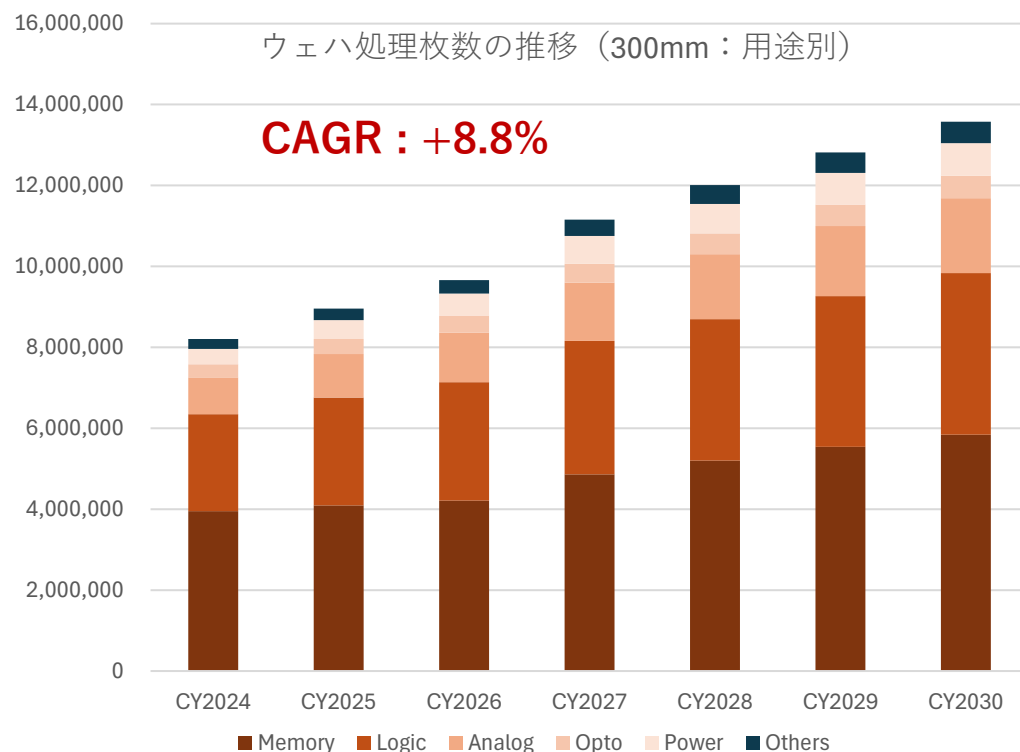


*Greenhouse Gas (温室効果ガス)

4 Appendix

半導体市場はメモリやロジックを中心に長期的な成長が継続し、
グローバルトップメーカーの存在感が高まる

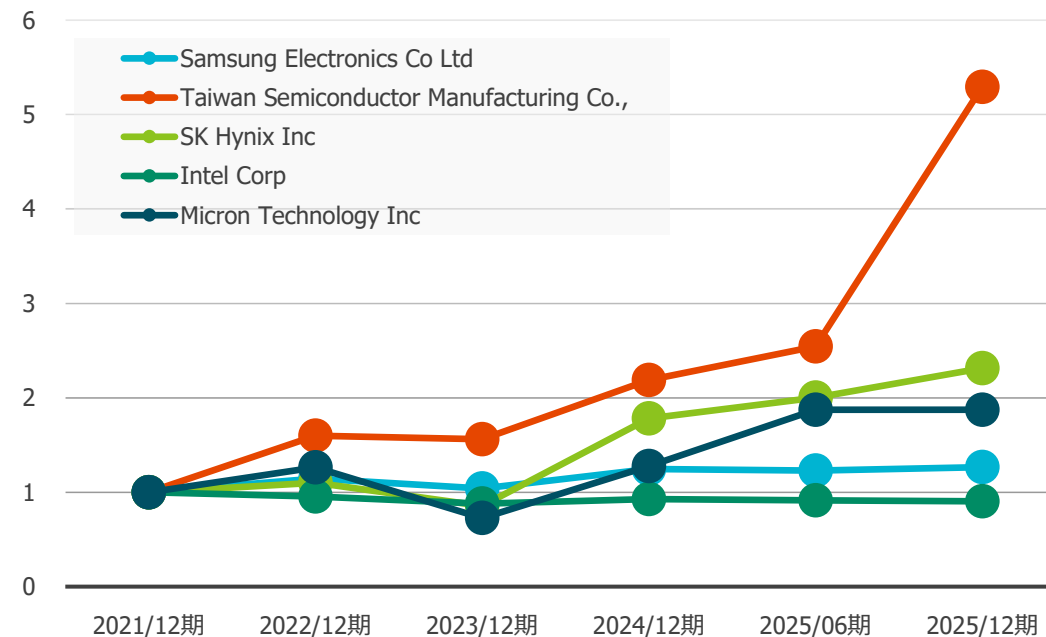
半導体市場成長



※4-6月における処理枚数の推移。SEMIデータを基に栗田工業作成

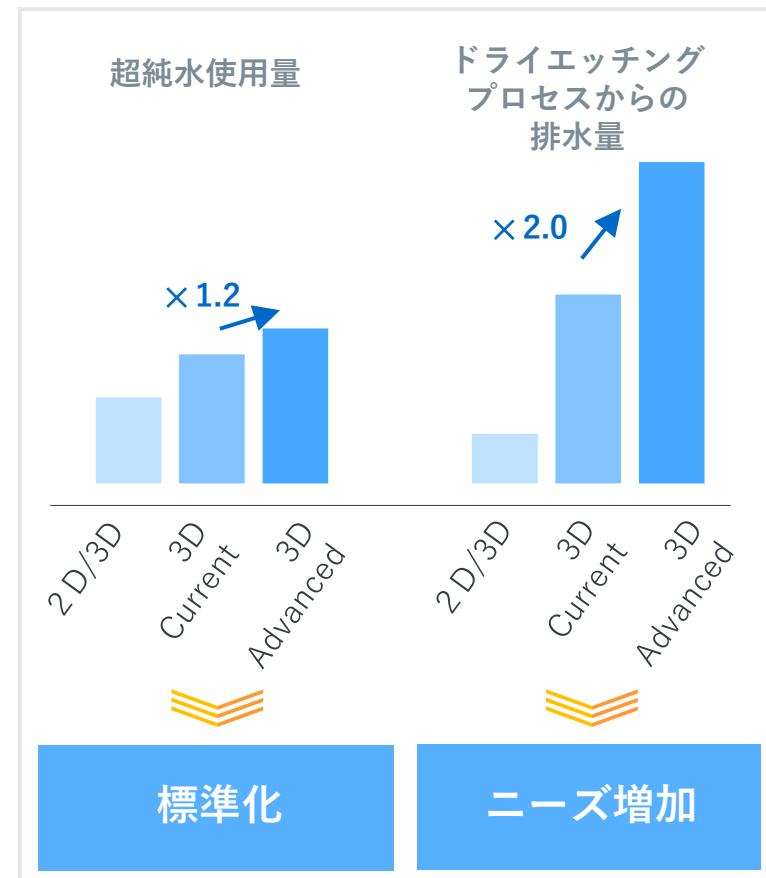
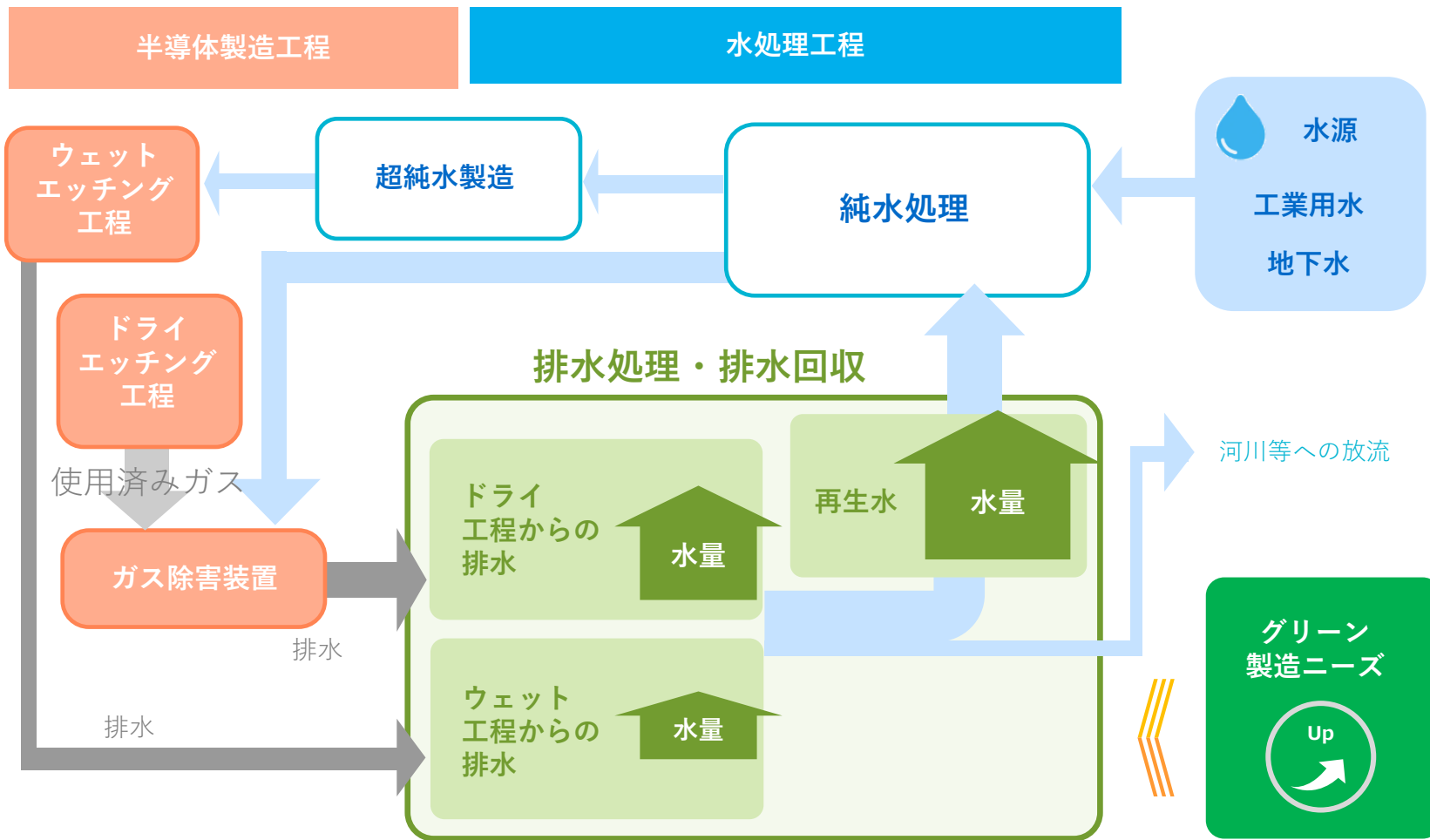
半導体メーカートップ (グローバルアカウント) の売上推移

(CY2021を基準とした指数)



※ 各社公表資料から栗田工業作成

ドライエッチングプロセスの増加やグリーン製造ニーズの高まりにより、排水回収の難易度と水量が増加





将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている見通し数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

本資料で使用される商標または登録商標（製品名、サービス名、ロゴマーク等）は、当社または第三者に帰属します。